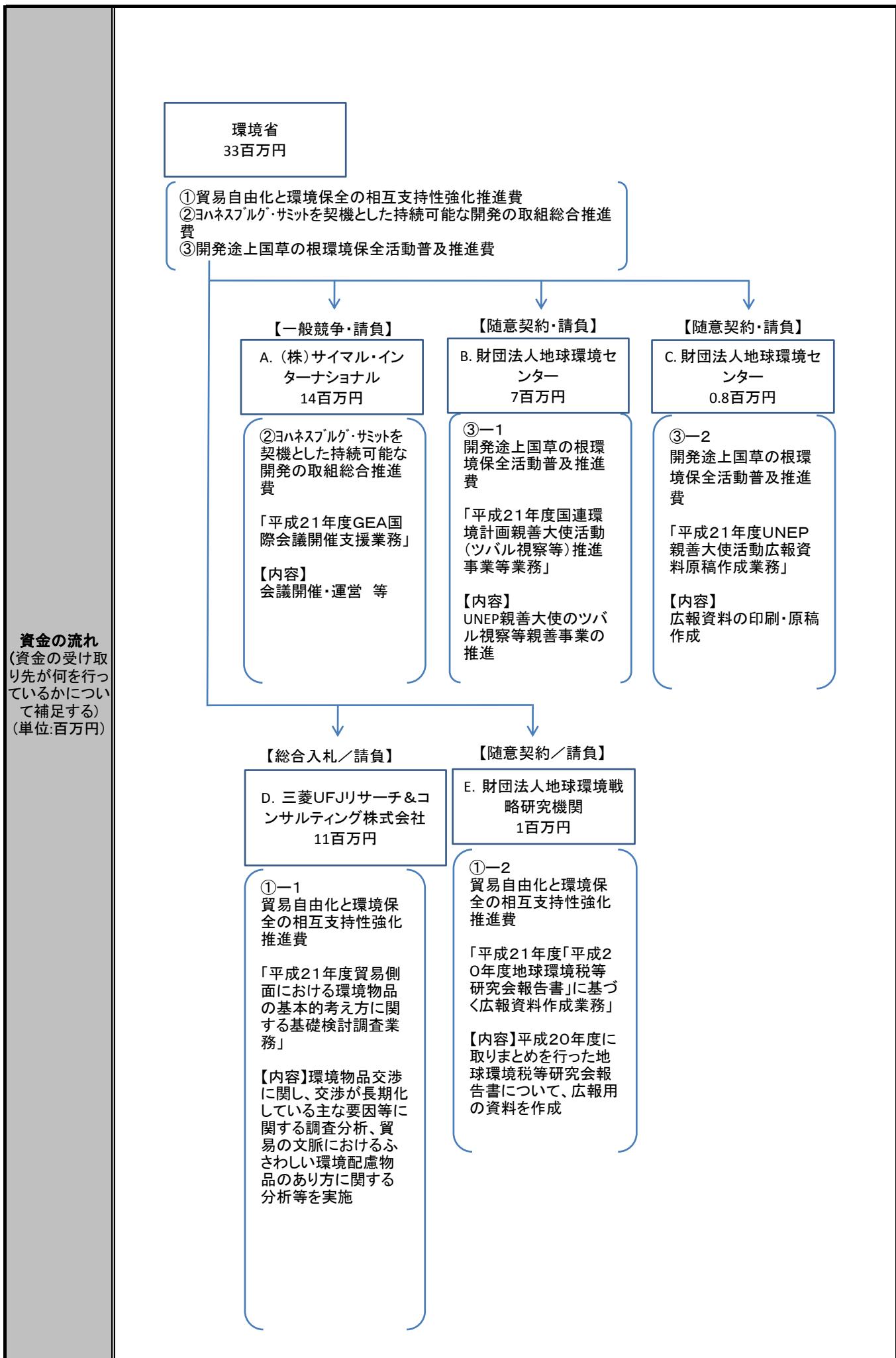


行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	貿易自由化と環境保全の相互支持性強化推進費等		事業開始年度	平成11年度	作成責任者
担当部局庁	地球環境局		担当課室	総務課国際ライン	調査官 吉中 厚裕
会計区分	一般会計		上位政策	地球環境の保全	
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—	
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	貿易・投資の自由化と環境保全の相互支持性を強化すべく、貿易対象物品における適切な環境配慮のあり方についての検討等を行うことにより、特に我が国が各国と締結するEPA/FTAやWTOにおける多国間の自由貿易体制のルールに環境保全が十分組み込まれるようにする。				
事業概要 (5行程度以内。別添可)	貿易・投資の自由化による環境影響評価に係る調査、FTA及びEPAを通じた環境政策の推進方策及び環境影響評価手法の開発、環境配慮物品の貿易促進の方策調査等を実施する。				
実施状況	WTO、OECD等における環境物品に関する議論の同行を整理し、取りまとめた。また、主要国(米国、ブラジル、インド、中国等)における貿易に関する基礎情報やWTOに提案している環境物品リストについて調査し、とりまとめた。				
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度
	予算額(補正後)	72	51	68	32
	執行額	63	41	33	—
	執行率	87.5%	80.4%	48.5%	—
	総事業費(執行ベース)	63	41	34	—
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	■当該業務の請負業者を選定する入札にあたり、仕様書に業務内容を限定列挙しているため、十分に実施内容を確認できる状況にある。事業の実施段階においては、定期的に事業実施者に実施状況を報告させ、必要な指示を行うことにより、適正な実施を確保している。			
	見直しの余地	■今後は、環境分野における国際連携の戦略的推進という視点から、業務内容を見直し、特にリオ+20に向けて重要な貿易と環境に関する取組についての調査・分析に絞って事業を効果的・効率的に実施することを検討。			
予算監視・所効見率化チーム					
補記					



費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出さ れている者に ついて記載す る。使途と費目 の双方で実情 が分かるように 記載）	A.(株)サイマル・インターナショナル			E.. 財団法人地球環境戦略研究機関		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	GEA国際会議開催・運営	14	雑役務費	広報資料作成業務	1
	計		14	計		1
	B.財団法人地球環境センター			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	国連環境計画親善大使活動(ツバ ル視察等)推進事業	7			
	計		7	計		0
	C.財団法人地球環境センター			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	広報資料原稿作成・印刷	0.8			
	計		0.8	計		0
	D.三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	貿易側面における環境物品の基 本的考え方に関する基礎検討調 査	11			
	計		11	計		0